



地球暮らし

地球温暖化防止と
環境共生住宅を考える

環境共生住宅の素晴らしさを存分に味わえる季節です

みなさんこんにちは、さつまホームの瀧川です。ゴールデンウィークはいかがお過ごしでしたか？リフレッシュできましたか？私は・・・引越しなど控えており何かあったと言う間でした。

5月は、緑が美しく光と風が爽やかな、とても素敵な時期ですね。私自身1年で一番好きな季節です。『地球暮らし』の環境共生住宅シリーズ、今月と来月は2回に渡り、この素晴らしい季節に因んで、住宅に光と風を取り入れる工夫についてのお話です。



わが家に自然の光と風を・・・その1

自 然の光や風を取り入れる工夫には、以下の挙げるように様々な方法があります。リフォームの場合、今のお住まいに採用可能かどうかは、専門家にご相談してみてください。

屋根窓をつくることもできます。トップライトのように屋根面から直接日差しを採り入れるものではありませんが、雨仕舞いの点では優れています。



れます。通風のためには、開閉できる窓を併用するといいいでしょう。ガラスブロックを通過する光は、明るく、柔らかく、室内が優しい雰囲気になります。また、ガラスに挟まれた空気層が断熱効果を発揮し、結露しにくいという利点もあります。中央の写真は和室の地窓にガラスブロックを使用して独特の雰囲気を出しています。

ガラスブロック

ガラスブロックは開閉することはできませんが、外部の視線が気になる部分の採光には効果的です。例えば階段の踊り場の壁面全部をガラスブロックにしたり、リビングに大面積の窓を設けて解放感を出したりと、さまざまな用途が考えら

ハイサイドライト

ハイサイドライトは、壁面の上部に窓を設け、太陽光を採り入れる方法です。プライバシーの問題で目の高さに窓を設けられない時や、太陽が高く昇らないと光が入らない場所に使います。また、2階の部屋では目線の高さの窓にはすりガラスを入れ、上部に透明ガラスのハイサイドライトを設けると、視線を気にせず光や風を採り入れることが可能です。上の写真の様に、壁面に収納を確保しつつ、採光も取り入れたい時にもハイサイドライトは最適です。



(参考サイト:下記「情報リンク」欄に記載)

トップライト・ドーマー

屋根面に開口部を設ける方法です。屋根面の窓は通常壁面の窓よりもずっと採光効率が高く、また最上階であれば北向きの部屋にも直接太陽光を入れることができます。吹き抜け部分のトップライトは空間の演出としても効果的ですし、周囲の居室もグンと明るくなります。但し屋根に開口を作るのですから、雨仕舞いには十分な注意が必要です。枠やその周囲の防水は、特に入念に施工してもらいましょう。開閉できるタイプとFIXタイプがあります。



屋根裏部屋などの採光や換気のために、屋根の傾斜面から突き出したドーマーウインドという



トピック

石炭発電、CO2排出ゼロ・5カ国で開発

日本、米国、中国、韓国、インドの5カ国による温暖化ガスを出さない次世代型石炭火力発電所の共同開発計画が明らかに。CO2の地中貯蔵システムを併設してCO2排出量をゼロにする。

中国、CO2排出抑制へ数値目標

中国政府、一定額の国内総生産(GDP)を生み出す際に排出するCO2量を意味する「GDP原単位当たりCO2排出量」を2020年までに00年比で4割以上減らす目標を発表。中国は高成長を続けており、目標を達成しても排出総量の増加は続くが、一定の抑制にはなる。

情報リンク

Living Design Center OZONEのサイト
<http://www.ozone.co.jp/housing/>

内装材、住宅設備など多様なショールーム群、住まいづくりの情報を蓄積し発信するインテリア、デザインの総合情報スペース

お知らせ バックナンバーをプレゼント

『地球暮らし』創刊1周年を記念して、バックナンバー全号をご希望の方に無料贈呈いたします。右記のEメールアドレス、FAXか、またはこちらの自動応答ダイヤルでご請求下さい。0120-868-099(無料)

編集後記 GW明けの気だるい雨の日に・・・

今月は締切がいつもより早いので、GW明け早々にテンション上げてせっせと書き上げました。「光と風」というだけでも、2回では書ききれないほど沢山の情報があり、選ぶのが大変です。ハイなうちに来月分も書いてとっとな・・・来月に続きます。読んで下さいね～。

このニュースレターに対するご意見、ご要望、投稿をお待ちしております。

Eメール: info@satsumahome.com
FAX : 06 - 6855 - 7700
郵便: 〒560-0053 豊中市向ヶ丘3-11-47
ステップビル3F (株)さつまホーム企画室
さつまホームは地球温暖化防止に取り組んでいます

